

化学物質を含む製品の取扱い作業点検シート

平成28年6月1日施工の労働安全衛生法関係法令改正により、一定の危険有害性のある化学物資(640物質など)を含む製品を取扱う事業者について、化学物質等の持つ危険性・有害性を特定し、労働者への危険・健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減措置を検討すること(リスクアセスメント)が義務付けられました。以下のステップに沿って安全対策の検討を行ってください。

ステップ①当該作業の責任者を選任(衛生管理者等)

ステップ②化学物質を含む製品の有害性、危険性のリスクレベル算出(製品ラベル、SDSを参照)

ステップ③有害性情報、作業環境を考慮した安全対策の検討

ステップ①当該作業の責任者を選任

点検実施日		作業名	
管理責任者		作成者	

ステップ②化学物質を含む製品の有害性、危険性のリスクレベル算出

取扱製品の名称	SC-100、R-100混合物
---------	-----------------

製品のGHS区分に応じた絵表示 (製品ラベルやSDSを参考に 該当する絵表示を○で囲む)	
--	--

含有する有害 化学物質の名称	リスクの見積もり								
	有害性 レベル	作業環境レベル詳細			作業環境 レベル a+b+c	年間 作業時間	ばく露 レベル	有害性レベルと ばく露レベルから 想定される 有害性リスクレベル※	
取扱量 a		揮発性 飛散性 b	換気 状態 c						
酢酸ビニル 結晶質—石英 エチレングリコール	有害性の リスクアセスメント	E	中 2	小 1	屋外 4	-1	400時間超 過	Ⅲ	4
	※有害性リスクレベル 1:低い 2:やや低い 3:中程度 4:高い 5:極めて高い								
	危険性の リスクアセスメント	物理化学的危険性 1次評価	施工環境温度等との比較 2次評価			爆発・火災等の 発生が想定される 危険性リスクレベル ※			
		-				1			
※危険性リスクレベル 1:ほぼ発生しない 2:可能性がある 4:可能性が高い 6:可能性が極めて高い									

ステップ③安全対策の検討

作業段階ごとの 対策	有害性・危険性への対策(リスク低減措置)				対策実行 状態の振返り
	換気対策	保護具による対策	管理対策(環境測定・教育等)	爆発・火災防止の対策	
保管場所					
準備作業段階					
本体作業段階					
終結作業段階					